

令和5年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立天神小学校

1 自己評価書

教育目標	豊かな人間性を培い、たくましく生き抜く天神の子の育成						
基本方針	天神小学校の歴史と伝統を受け継ぎ、地域と共同して「生きる力」をはぐくむ教育を推進し、社会の変化に対応できる確かな学力を身に付け、心身ともに健やかで、主体性と実践力、郷土愛を身に付けた児童の育成に努める。						
本年度重点目標	1.特色ある学校づくりの推進 2.確かな学力を育てる教育の推進 3.豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 4.互いの人権を尊重する教育の推進と児童生徒の健全育成 5.教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 6.安全・安心で充実した教育環境の整備						
評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	D C	D	
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	D B B	C	
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	C B	B	
			一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C B A	B	
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B	
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C C B	C	
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	D C B	C	
	(成果と課題) ○学習の軽重やワークシートの活用など個に応じた学習の充実に取り組んだ。 ○体験的な学習や具体物を使った活動を取り入れ、主体的に学ぶことができるようにした。 ○諸調査の分析、活用は不十分である。						
	(改善策等) ○放課後学習会や天神タイムを利用して、過去の学年の復習から取り組ませる。 ○相手の考えを聞いて思ったことを書かせたり、発表させるなどの活動を設定し、対話を重視した学習活動の充実を図る。 ○EILSの活用を図る。						
	評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
	生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C B A	B
		②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C B B	B
				不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B B C	B
				いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	C B C	C
				③	基本的生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート
		④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート ・児童アンケート	B B	B
				自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート	B B	
(成果と課題) ○教職員間の報告連絡相談は十分機能していたと思う。特に生徒指導主事には早急に対応していただきありがたかった。 ○生徒指導主事を中心にケース会議等のサポート体制が構築され、不登校やいじめ対応において未然防止につながった。							
(改善策等) ○学級経営の基本は学習指導・生徒指導の両輪である。日々最大限の努力を惜しまず取り組んでいく必要がある。 ○授業が楽しい、友達が好き、先生が好き、だからまた明日も来なくなる。そんな学級経営を全員で目指す。 ○教職員全員が同じスタンスで指導に当たる。							

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革</u> に努めた。	・教師アンケート	D	C
				・「出勤・退庁調査」の分析と活用	C	
	②	働きやすい環境づくり	新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとらわれることなく取り組んだ。	・教師アンケート	D	D
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B
	③	他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	C	C
(成果と課題) ○残業時間を少なくするように努めた。 ○昨年度と比べて、組織として機能し、ずいぶん働きやすくなった。 ○昨年度に比べ、超過勤務時間(平均)が増加している。やりがいは重視しつつ、肉体的・精神的負担軽減措置は必要で(改善策等) ○学校全体でサポートが必要な場合は何らかの方法で周知をし、職員全体でサポートできる体制を構築する。 ○長期休業期間に業務内容を見直すとともに、作業の効率化を図る。 ○自己の課題を明確にし、改善するための手立てを早急に設定し、実践する。						
評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	C	B
				・教師アンケート	B	
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
	②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
	③	来校・相談体制	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
(成果と課題) ○西村先生をお招きし、学校運営協議会について講義いただいたことは大変よかった。今後、全教職員の共通理解につなげたい。 ○電話対応や来校者への対応を丁寧に行い、相談しやすい体制づくりができた。(改善策等) ○学級通信の発行を少なくとも週に1回発行し、学校での様子を積極的に積極的に伝える。 ○学校運営協議会で話し合ったことを職員会もしくは終礼で共有し、出てきた意見等を職員間で文書ではなく声できちんと伝える。						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満